

平成25年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	福祉バス管理運営委託事業			基本目標	地域福祉活動の推進			
担当課(局)・係	健康福祉課	社会福祉係	記入者	橋本 学	評価者	河野 辰己	開始年度	年度
事業の目的	意図・目的 (どうする)	社会活動への参加促進を図る。						
	対象(誰を・何を)	行政、議会、障害者団体、社会福祉団体、ボランティア団体、地域住民(自治公民館等)						
事業の内容	町が保有する福祉バスの管理運営を社会福祉法人高鍋町社会福祉協議会に委託し、行政、議会、障害者団体、社会福祉団体、ボランティア団体、地域住民(自治公民館等)の研修活動等で福祉バスを活用する。							
事業の根拠法令・要綱等								

◎前年度決算額及び今年度予算額

24年度決算額		1,658千円	25年度予算額		1,945千円	25年度予算額中一般財源の割合		100	%			
支出の内訳	需用費	384千円	財源内訳	国庫支出金	千円	事業従事者数	H24	0.01	人	H25	0.01	人
	役務費	70千円		県支出金	千円	職員人件費	H24	59千円				
	委託料	1,174千円		地方債	千円		H25	60千円				
	公課費	30千円		一般財源	1,945千円	当事業の金銭的成本	H24	1,717千円				
		千円		千円	千円	(職員人件費+予算(決算)額)	H25	2,005千円				
補助事業	事業の区分	該当しない			補助事業名							
	補助対象				補助金要綱							
	24年度	補助額	千円	補助の形態		H25年度補助額	千円	終期				
		交付団体の決算額	千円	H24年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等								
		決算額に占める割合	%									
繰越額		千円										

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名		この指標で評価される成果の具体的内容および、指標の算出方法を記入								
	1	利用団体数	障害者団体等の社会参加の促進が図られた。								
	2	運行日数	障害者団体等の社会参加の促進が図られた。								
	3										
活動指標	活動指標名		この指標で評価される活動の具体的内容および、指標の算出方法を記入								
	1	運行実績数(町内)	行政等が行事参加や灯笼まつりのシャトルバスとして福祉バスを活用。								
	2	運行実績数(県内)	障害者団体や自治公民館等が大会参加や視察研修等で福祉バスを活用。								
	3	運行実績数(県外)	議会、障害者団体、自治公民館等が視察研修や式典参加等で福祉バスを活用。								

◎目標達成状況

	指標名	単位	23年度	24年度	25年度	特記事項	
成果指標	利用団体数	目標値	-	110	80		
		実績値	86	86			
		達成率	%	78.2%			
	運行日数	目標値	日	90	90		90
		実績値	日	97	95		
		達成率	%	107.8%	105.6%		
活動指標	運行実績数(町内)	目標値	日	20	20	20	
		実績値	日	16	8		
		達成率	%	80.0%	40.0%		
	運行実績数(県内)	目標値	日	50	50	50	
		実績値	日	58	67		
		達成率	%	116.0%	134.0%		
	運行実績数(県外)	目標値	日	20	20	20	
		実績値	日	23	20		
		達成率	%	115.0%	100.0%		

平成25年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	各種団体補助事業(高鍋点訳サークル「おすず」)		基本目標	地域福祉活動の推進				
担当課(局)・係	健康福祉課	社会福祉係	記入者	橋本 学	評価者	河野 辰己	開始年度	年度
事業の目的	意図・目的(どうする)	点訳サークル活動を支援するための助成。						
	対象(誰を・何を)	高鍋点訳サークル「おすず」への補助						
事業の内容	町からのお知らせ・広報等の点訳を行う障がい者サポート団体「点訳サークルおすず」の活動を支援するため助成を行う。							
事業の根拠法令・要綱等								

◎前年度決算額及び今年度予算額

24年度決算額		15	千円	25年度予算額		15	千円	25年度予算額中一般財源の割合		100	%	
支出の内訳	補助金	15	千円	財源内訳	国庫支出金		千円	事業従事者数	H24	0.01	人	
			千円		県支出金		千円	職員人件費	H24		59	千円
			千円		地方債		千円		H25		60	千円
			千円		一般財源	15	千円	当事業の金銭的成本	H24		74	千円
			千円				千円	(職員人件費+予算(決算)額)	H25		75	千円
補助事業	事業の区分	町単独補助			補助事業名	高鍋点訳サークル「おすず」補助金						
	補助対象	高鍋点訳サークル「おすず」			補助金要綱	有						
	24年度	補助額	15	千円	補助の形態	運営費補助	H25年度補助額	15	千円	終期	平成25年度	
		交付団体の決算額	98	千円	H24年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等							
	決算額に占める割合	15	%									
	繰越額	0	千円									

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名		この指標で評価される成果の具体的内容および、指標の算出方法を記入									
	1	ボランティア・交流活動数	ボランティア活動や視覚障害者との交流が図られた。									
	2	養成講座の開講数	点訳養成講座を開講し、点訳奉仕員の養成が図られた。									
	3	広報等の点訳数	町広報や総会資料等の点訳作成を行い、視覚障害者への情報提供が図られた。									
活動指標	活動指標名		この指標で評価される活動の具体的内容および、指標の算出方法を記入									
	1	補助金交付に係る事務	補助金交付申請書受付から交付伺、補助金支払いを行う。									
	2	補助金精算に係る事務	補助金実績報告受付から、補助金支払いに係る清算事務を行う。									
	3											

◎目標達成状況

指標名		単位	23年度	24年度	25年度	特記事項
成果指標	ボランティア・交流活動数	目標値	1	3	2	蚊口・鷗野浜の清掃、視覚障害者との交流会 お知らせたかなべ、広報たかなべ、議会だより、総会資料等
		実績値	7	7		
		達成率	700.0%	233.3%		
	養成講座の開講数	目標値	24	24	24	
		実績値	24	24		
		達成率	100.0%	100.0%		
広報等の点訳数	目標値	37	37	34		
	実績値	37	37			
	達成率	100.0%	100.0%			
活動指標	補助金交付に係る事務	目標値	1	1	1	
		実績値	1	1		
		達成率	100.0%	100.0%		
	補助金精算に係る事務	目標値	1	1	1	
		実績値	1	1		
		達成率	100.0%	100.0%		
	目標値					
	実績値					
	達成率	%				

事務事業名	各種団体補助事業(高鍋点訳サークル「おすず」)	担当課(局)	健康福祉課
-------	-------------------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数	評価の理由
		自己評価	
妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか	2	意思疎通困難者への支援強化が求められている中、視覚障害者への情報提供の一助を担う団体への助成であり、妥当と考える。
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	
	◎事業廃止による影響があるのか	2	
有効性	◎目標に対して成果は得られているか	2	意思疎通困難者の支援者の増加を図るために有効と考える。
	◎すでに目的は達成されていないか	2	
効率性	◎活動量の効果は実際に上がっているか	2	情報提供が行えることで意思疎通困難者の社会参加が図られコスト以上の効果が上がっていると考ええる。
	◎費用対効果が十分に認められるか	2	
協働性	◎ボランティア・NPOなど町民との協働ができるか	2	ボランティア的な活動をしている団体である。
自己評価点		18	

※町補助をしている場合のみ記入

公平性 (公益性)	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること	1	視覚障害者のために、本や資料、広報誌等の点訳を行っており、公益性は高いと考える。
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	1	
	◎町民の理解が得られる事業であるか	1	
合計(最高4点)		3	

その他	
-----	--

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	評価する項目	今後の方向性																										
			事業の方向性																									
総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	点訳サークルの運営や町広報誌の点訳をボランティア的に行っており、その活動の維持のために運営費の一部を補助することは妥当である。	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5"> 廃止 縮小 維持 拡充 コスト </td> </tr> </table>	拡充					維持			○		縮小					廃止					廃止 縮小 維持 拡充 コスト				
			拡充																									
維持			○																									
縮小																												
廃止																												
廃止 縮小 維持 拡充 コスト																												

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> 定期的活動しており、また、最小の経費で運営されているため、現状維持 補助金が終期を迎えるが、次年度以降も必要と考える。 光熱水費等が大変ならば拡充すべきと思うが、別に報酬があるのであれば現状維持でよい 	外部評価委員会 評価判定欄
事業	維持	事業
コスト	維持	コスト

平成25年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	各種団体補助事業(戦没者慰霊祭)		基本目標	分類不可能事業				
担当課(局)・係	健康福祉課	社会福祉係	記入者	橋本 学	評価者	河野 辰己	開始年度	年度
事業の目的	意図・目的 (どうする)	慰霊追悼式参加に係る費用の負担軽減を図る。						
	対象(誰を・何を)	戦没者慰霊追悼式参加者に対する補助						
事業の内容	戦没者慰霊追悼式参加に係る負担金の1/2を補助							
事業の根拠法令・要綱等								

◎前年度決算額及び今年度予算額

24年度決算額		0千円		25年度予算額		20千円		25年度予算額中一般財源の割合			100	%
支出の内訳		千円	財源内訳	国庫支出金	千円	事業従事者数	H24	0.00	人	H25	0.01	人
		千円		県支出金	千円	職員人件費	H24			0	千円	
		千円		地方債	千円		H25			60	千円	
		千円		一般財源	20	千円	当事業の金銭的成本	H24			0	千円
		千円			千円	(職員人件費+予算(決算)額)	H25			80	千円	
補助事業	事業の区分	町単独補助			補助事業名	戦没者慰霊追悼式参列補助金						
	補助対象	個人			補助金要綱	有						
	24年度	補助額	0	千円	補助の形態	奨励的補助	H25年度補助額	20	千円	終期	平成25年度	
		交付団体の決算額	0	千円	H24年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等							
		決算額に占める割合	#DIV/0!	%								
	繰越額	0	千円									

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名		この指標で評価される成果の具体的内容および、指標の算出方法を記入									
	1	補助者数	参加費の半額を助成し、費用面の負担軽減を図る。									
	2											
	3											
活動指標	活動指標名		この指標で評価される活動の具体的内容および、指標の算出方法を記入									
	1	補助金交付に係る事務	補助金交付申請書受付から交付伺、補助金支払いを行う。									
	2	補助金精算に係る事務	補助金実績報告受付から、補助金支払いに係る清算事務を行う。									
	3											

◎目標達成状況

	指標名	単位	23年度	24年度	25年度	特記事項
成果指標	補助者数	目標値	2	2	2	
		実績値	1	-		
		達成率	%	50.0%		
		目標値				
		実績値				
		達成率	%			
活動指標	補助金交付に係る事務	目標値	1	1	1	
		実績値	1	-		
		達成率	%	100.0%		
	補助金精算に係る事務	目標値	1	1	1	
		実績値	1	-		
		達成率	%	100.0%		

事務事業名	各種団体補助事業(戦没者慰霊祭)	担当課(局)	健康福祉課
-------	------------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数	評価の理由
		自己評価	
妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか	2	戦没者慰霊追悼式への参加負担金の半額助成であり、戦争により家族を亡くした者への慰藉の念から、行政における助成は妥当と考える。
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	
	◎事業廃止による影響があるのか	2	
有効性	◎目標に対して成果は得られているか	2	費用面で負担軽減が図られ有効であると考え。
	◎すでに目的は達成されていないか	1	
効率性	◎活動量の効果は実際に上がっているか	0	効果の測定が難しいが、費用面で負担軽減が図られるので効果はあると考える。
	◎費用対効果が十分に認められるか	1	
協働性	◎ボランティア・NPOなど町民との協働ができるか	0	対象者が限定され、協働は困難と考える。
自己評価点		12	

※町補助をしている場合のみ記入

公益性 (公平性)	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること	0	対象者が限定されるので公益性はないが、遺族の心情を考慮すると町民の理解は得られると考える。
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	1	
	◎町民の理解が得られる事業であるか	1	
合計(最高4点)		2	

その他	
-----	--

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	今後の方向性																				
			事業の方向性																			
総合評価	<p>国のために戦死された戦没者の遺族の心情を察するときに、継続が望ましいが、現在の運営のあり方については検討を要す。</p>	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充					維持		○			縮小					廃止				
		拡充																				
		維持		○																		
		縮小																				
廃止																						
コスト		<table border="1"> <tr> <td>廃止</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡充</td> </tr> </table>	廃止	縮小	維持	拡充																
廃止	縮小	維持	拡充																			

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> 補助額について近隣町の動向を参考に要検討 趣旨は理解できる、町でも春と秋に実施している、必要性に疑問。 慰霊祭の終わりの時期が終期となるべきと思うので、対象外で良い 事業の内容と成果を、しっかり出していくことが必要。 よく頑張ってもらっていると思う。 	外部評価委員会 評価判定欄
事業	維持	事業
コスト	維持	コスト

平成25年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	各種団体補助事業(原爆被害者の会)		基本目標	分類不可能事業				
担当課(局)・係	健康福祉課	社会福祉係	記入者	橋本 学	評価者	河野 辰己	開始年度	年度
事業の目的	意図・目的(どうする)	原爆被害者団体の活動を支援するための助成。						
	対象(誰を・何を)	宮崎県原爆被害者の会高鍋支部に対する補助						
事業の内容	高鍋保健所管内における原爆被害者団体の活動を支援するため助成を行う。 補助金 高鍋町19,000円 木城町12,600円 川南町18,000円 都農町18,000円 会員数 高鍋町9名 木城町2名 川南町11名 都農町6名							
事業の根拠法令・要綱等								

◎前年度決算額及び今年度予算額

24年度決算額	19千円	25年度予算額	19千円	25年度予算額中一般財源の割合		100%	
支出の内訳	補助金	19千円	国庫支出金	千円	事業従事者数	H24 0.01人 H25 0.01人	
		千円	県支出金	千円	職員人件費	H24 59千円	
		千円	地方債	千円		H25 60千円	
		千円	一般財源	19千円	当事業の金銭的成本	H24 78千円	
		千円		千円	(職員人件費+予算(決算)額)	H25 79千円	
補助事業	事業の区分	町単独補助		補助事業名	宮崎県原爆被害者の会高鍋支部補助金		
	補助対象	宮崎県原爆被害者の会高鍋支部		補助金要綱	有		
	24年度	補助額	19千円	補助の形態	運営費補助	H25年度補助額	19千円 終期 平成25年度
		交付団体の決算額	130千円	H24年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等			
		決算額に占める割合	15%	◎補助額について他自治体と調整のうえ再度検討すること。(H22)			
	繰越額	5千円					

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名		この指標で評価される成果の具体的内容および、指標の算出方法を記入			
	1	活動数	式典・大会等への参加活動を支援した。			
	2	語り部会の講師出席数	戦争・原爆の悲惨さを後生に伝え、世界平和の実現を目指す。			
	3					
活動指標	活動指標名		この指標で評価される活動の具体的内容および、指標の算出方法を記入			
	1	補助金交付に係る事務	補助金交付申請書受付から交付伺、補助金支払いを行う。			
	2	補助金精算に係る事務	補助金実績報告受付から、補助金支払いに係る清算事務を行う。			
	3					

◎目標達成状況

	指標名	単位	23年度	24年度	25年度	特記事項
成果指標	活動数	目標値	4	4	4	
		実績値	5	5		
		達成率	125.0%	125.0%		
	語り部会の講師出席数	目標値	1	1	1	
		実績値	1	2		
		達成率	100.0%	200.0%		
活動指標	補助金交付に係る事務	目標値	1	1	1	
		実績値	1	1		
		達成率	100.0%	100.0%		
	補助金精算に係る事務	目標値	1	1	1	
		実績値	1	1		
		達成率	100.0%	100.0%		

事務事業名	各種団体補助事業(原爆被害者の会)	担当課(局)	健康福祉課
-------	-------------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数	評価の理由
		自己評価	
妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか	2	戦争・原爆被害者団体の活動を支援する助成であり、行政による助成は妥当と考える。
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	
	◎事業廃止による影響があるのか	2	
有効性	◎目標に対して成果は得られているか	2	世界大会や慰霊祭への参加活動の支援が図られ有効であると考ええる。
	◎すでに目的は達成されていないか	1	
効率性	◎活動量の効果は実際に上がっているか	1	団体活動を支援しており効果があると考ええる。
	◎費用対効果が十分に認められるか	1	
協働性	◎ボランティア・NPOなど町民との協働ができるか	0	なし。
自己評価点		13	

※町補助をしている場合のみ記入

公益 平 性 (公益性)	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること	1	公益性は低いと考えるが、戦争被害者である団体の活動に対して行政の関与は避けられないものなので、公益性を問うものではないと考える。
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	1	
	◎町民の理解が得られる事業であるか	1	
合計(最高4点)		3	

その他	
-----	--

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合 評 価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	原爆被害者及び被害者2世の活動を支援するために必要である。	今後の方向性																							
			事業の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充					維持			○		縮小					廃止					<table border="1"> <tr> <td>廃止</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡充</td> </tr> </table>	廃止
拡充																										
維持			○																							
縮小																										
廃止																										
廃止	縮小	維持	拡充																							
コスト																										

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> 補助額について近隣町の動向を参考に要検討 補助金が終期を迎えるが、補助金額の根拠がないう構成町の補助金額もばらばらなため、負担金でも良いのでは? 趣旨は理解できるが、必要性に疑問 各町の会員数対補助額が気になる。 事業の内容と成果を、しっかり出していくことが必要。 よく頑張ってもらっていると思う。 他団体と足並みをそろえるのは現状では厳しいと考える。 	外部評価委員会 評価判定欄
事業	維持	事業
コスト	維持	コスト

平成25年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	各種団体補助事業(更生保護女性会)		基本目標	地域福祉活動の推進				
担当課(局)・係	健康福祉課	社会福祉係	記入者	橋本 学	評価者	河野 辰己	開始年度	年度
事業の目的	意図・目的(どうする)	青少年の健全育成への支援、少年の改善更正に協力する団体の活動を支援するための助成。						
	対象(誰を・何を)	高鍋町更生保護女性会に対する補助						
事業の内容	地域社会の犯罪・非行の未然防止のための啓発活動や青少年の健全育成への支援、少年の改善更正に協力する団体の活動を支援するため助成を行う。							
事業の根拠法令・要綱等								

◎前年度決算額及び今年度予算額

24年度決算額	50千円	25年度予算額	50千円	25年度予算額中一般財源の割合		100	%	
支出の内訳	補助金	50千円	財源内訳	国庫支出金	千円	事業従事者数	H24 0.01人 H25 0.01人	
		千円		県支出金	千円	職員人件費	H24 59千円	
		千円		地方債	千円		H25 60千円	
		千円		一般財源	50千円	当事業の金銭的成本	H24 109千円	
		千円			千円	(職員人件費+予算(決算)額)	H25 110千円	
補助事業	事業の区分	町単独補助		補助事業名	高鍋町更生保護女性会補助金			
	補助対象	高鍋町更生保護女性会		補助金要綱	有			
	24年度	補助額	50千円	補助の形態	運営費補助	H25年度補助額	50千円	終期 平成25年度
		交付団体の決算額	212千円	H24年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
	決算額に占める割合	26%						
	繰越額	16千円						

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名		この指標で評価される成果の具体的内容および、指標の算出方法を記入				
	1	研修会等の参加数	研修を受け識見向上が図られた。				
	2	啓発活動数	啓発活動等により犯罪等の未然防止、環境浄化が図られた。				
	3						
活動指標	活動指標名		この指標で評価される活動の具体的内容および、指標の算出方法を記入				
	1	補助金交付に係る事務	補助金交付申請書受付から交付伺、補助金支払いを行う。				
	2	補助金精算に係る事務	補助金実績報告受付から、補助金支払いに係る清算事務を行う。				
	3						

◎目標達成状況

	指標名	単位	23年度	24年度	25年度	特記事項
成果指標	研修会等の参加数	目標値	3	3	3	社会を明るくする運動、秋の交通安全キャンペーン
		実績値	5	4		
		達成率	166.7%	133.3%		
	啓発活動数	目標値	1	1	1	
		実績値	2	2		
		達成率	200.0%	200.0%		
活動指標	補助金交付に係る事務	目標値	1	1	1	
		実績値	1	1		
		達成率	100.0%	100.0%		
	補助金精算に係る事務	目標値	1	1	1	
		実績値	1	1		
		達成率	100.0%	100.0%		
		目標値				
		実績値				
		達成率	%			

事務事業名	各種団体補助事業(更生保護女性会)	担当課(局)	健康福祉課
-------	-------------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数	評価の理由
		自己評価	
妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか	2	犯罪や非行を犯した者等の更生支援を目的としたボランティア活動団体への助成であり、妥当と考える。
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	
	◎事業廃止による影響があるのか	2	
有効性	◎目標に対して成果は得られているか	2	犯罪や非行を犯した者等の更生支援を目的としたボランティア活動団体への助成は有効と考える。
	◎すでに目的は達成されていないか	1	
効率性	◎活動量の効果は実際に上がっているか	1	活動を支援することで青少年の非行防止や環境浄化が図られ効果があると考ええる。
	◎費用対効果が十分に認められるか	1	
協働性	◎ボランティア・NPOなど町民との協働ができるか	2	地域や学校と連携したボランティア活動である。
自己評価点		15	

※町補助をしている場合のみ記入

公益 平 性 (公益性)	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること	1	犯罪者等の更生支援、青少年の非行防止や健全育成に努める団体であり、公益性は高いと考える。
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	1	
	◎町民の理解が得られる事業であるか	1	
合計(最高4点)		3	

その他	
-----	--

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合 評 価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	犯罪者の更生の支えや青少年の健全育成など地域に根ざした更生保護活動を実践する女性の会であり、引き続き支援することが望ましい。	今後の方向性			
			事業の方向性	拡充	維持	縮小
					○	
			廃止	縮小	維持	拡充
			コスト			

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> 団体の意義的に廃止等は難しいと考える。 事業の内容と成果を、しっかり出していくことが必要。 よく頑張ってもらっていると思う。 	外部評価委員会 評価判定欄	
事業		維持	事業
コスト		維持	コスト

平成25年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	各種団体補助事業(保護司会)			基本目標	地域福祉活動の推進			
担当課(局)・係	健康福祉課	社会福祉係	記入者	橋本 学	評価者	河野 辰己	開始年度	年度
事業の目的	意図・目的 (どうする)	犯罪や非行をした人等の立ち直りを地域で支える保護司会の活動を支援するための助成。						
	対象(誰を・何を)	児湯地区保護司会高鍋支部に対する補助						
事業の内容	犯罪や非行をした人等の立ち直りを地域で支える保護司会の研修、犯罪予防活動、関係機関との連絡調整、広報活動などの組織的な活動を支援するため助成を行う。							
事業の根拠法令・要綱等								

◎前年度決算額及び今年度予算額

24年度決算額		160	千円	25年度予算額		160	千円	25年度予算額中一般財源の割合			100	%		
支出の内訳	補助金	160	千円	財源内訳	国庫支出金		千円	事業従事者数	H24	0.01	人	H25	0.01	人
			千円		県支出金		千円	職員人件費		H24			59	千円
			千円		地方債		千円			H25			60	千円
			千円		一般財源	160	千円		当事業の金銭的成本	H24			219	千円
			千円				千円	(職員人件費+予算(決算)額)	H25			220	千円	
補助事業	事業の区分	町単独補助			補助事業名	児湯地区保護司会高鍋支部補助金								
	補助対象	児湯地区保護司会高鍋支部			補助金要綱	有								
	24年度	補助額	160	千円	補助の形態	運営費補助	H25年度補助額	160	千円	終期	平成25年度			
		交付団体の決算額	261	千円	H24年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等									
		決算額に占める割合	70	%	※H24にH25県外研修のための多額積立									
繰越額		31	千円											

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名		この指標で評価される成果の具体的内容および、指標の算出方法を記入									
	1	研修会等の参加数	研修を受け識見向上が図られた。									
	2	活動数	啓発活動等により犯罪等の未然防止、環境浄化が図られた。									
	3											
活動指標	活動指標名		この指標で評価される活動の具体的内容および、指標の算出方法を記入									
	1	補助金交付に係る事務	補助金交付申請書受付から交付伺、補助金支払いを行う。									
	2	補助金精算に係る事務	補助金実績報告受付から、補助金支払いに係る清算事務を行う。									
	3											

◎目標達成状況

	指標名	単位	23年度	24年度	25年度	特記事項
成果指標	研修会等の参加数	目標値	5	5	5	社明運動、定期駐在、学校区情報交換会
		実績値	8	6		
		達成率	160.0%	120.0%		
	活動数	目標値	3	3	3	
		実績値	5	4		
		達成率	166.7%	133.3%		
活動指標	補助金交付に係る事務	目標値	1	1	1	
		実績値	1	1		
		達成率	100.0%	100.0%		
	補助金精算に係る事務	目標値	1	1	1	
		実績値	1	1		
		達成率	100.0%	100.0%		
		目標値				
		実績値				
		達成率	%			

事務事業名	各種団体補助事業(保護司会)	担当課(局)	健康福祉課
-------	----------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数 自己 評価	評価の理由
必要 性	◎目的からして町が行うべきか	2	保護司は、犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支えるという大きな役割を担っていますが、活動は全て無報酬の非常勤国家公務員(法務大臣が委嘱)です。保護司会の運営・活動と保護司の識見向上を図るための支援は必要であり、更なる助成を行うことが妥当と考える。
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	
	◎事業廃止による影響があるのか	2	
有効 性	◎目標に対して成果は得られているか	2	触法者(犯罪歴や性格等)も多種多様となり、保護司活動は難しくなっている。保護司はより一層の識見向上が必要になっているので更なる支援を行うことが有効と考える。
	◎すでに目的は達成されていないか	2	
効率 性	◎活動量の効果は実際に上がっているか	2	保護司活動は、犯罪・非行の未然防止を図るとともに、触法者の更生と社会復帰の一助を担っているボランティア活動であり、その活動を支援することは効果的であると考え。社会から求められる保護司の役割は大きく、識見向上を図るためにも更なる支援が必要と考える。
	◎費用対効果が十分に認められるか	2	
協働 性	◎ボランティア・NPOなど町民との協働ができるか	2	地域や学校と連携したボランティア活動である。
自己評価点		18	

※町補助をしている場合のみ記入

公益 平 性	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること	1	保護司活動は、触法者の更生や社会復帰のための支援活動で、安心・安全なまちづくりに不可欠なものであり、公益性が高いと考える。
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	1	
	◎町民の理解が得られる事業であるか	1	
合計(最高4点)		3	
その他			

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合 評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	犯罪を犯した人の社会復帰を支援する活動や、安心・安全な地域づくりを行う活動を行う組織の支援は、妥当であり、今後も引き続き継続すべきである。	今後の方向性			
			事業の方向性	廃止	縮小	維持
					○	
			コスト			

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> 研修活動等への何らかの支援策を検討する必要がある。 保護司の活動について、費用面での国からの支援が望めないのであれば研修費用等の支援の拡充が必要と考える。 ただし、町として増額するための明確な理由付けが必要 制度維持のための提言が必要では、業務の大変さ困難さが理解できるが、国において改善すべき事項と考える 内容が大変であるので、ある程度補助額を増やしても良いのではないかと思う。 国に対して、制度の充実を要望すべきと考える。 研修費等の経費を考慮して、最低限の増額は必要と判断する。 	外部評価委員会 評価判定欄
事業	維持	事業
コスト	維持	コスト

平成25年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	社会福祉協議会福祉活動専門員補助事業		基本目標	地域福祉活動の推進				
担当課(局)・係	健康福祉課	社会福祉係	記入者	橋本 学	評価者	河野 辰己	開始年度	年度
事業の目的	意図・目的 (どうする)	福祉活動専門員による福祉活動やボランティア活動を促進し、地域ぐるみの福祉体制の充実を図る。						
	対象(誰を・何を)	高鍋町社会福祉協議会に対する補助						
事業の内容	福祉活動専門員による福祉体制の充実を図るための活動に対し助成を行う。							
事業の根拠法令・要綱等								

◎前年度決算額及び今年度予算額

24年度決算額		3,417千円	25年度予算額		3,417千円	25年度予算額中一般財源の割合			100	%		
支出の内訳	補助金	3,417千円	財源内訳	国庫支出金	千円	事業従事者数	H24	0.01	人	H25	0.01	人
		千円		県支出金	千円	職員人件費	H24	59千円				
		千円		地方債	千円		H25	60千円				
		千円		一般財源	3,417千円		当事業の金銭的成本	H24	3,476千円			
		千円			千円	(職員人件費+予算(決算)額)	H25	3,477千円				
補助事業	事業の区分	町単独補助		補助事業名	高鍋町社会福祉協議会福祉活動専門員補助金							
	補助対象	社会福祉協議会		補助金要綱	有							
	24年度	補助額	3,417千円	補助の形態	運営費補助	H25年度補助額	3,417千円	終期	平成25年度			
		交付団体の決算額	5,037千円	H24年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等								
	決算額に占める割合	68%	※普通交付税措置(単位費用)									
	繰越額	0千円										

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名		この指標で評価される成果の具体的内容および、指標の算出方法を記入								
	1	福祉活動専門員数	人件費の一部を助成し福祉活動専門員を確保する。								
	2										
	3										
活動指標	活動指標名		この指標で評価される活動の具体的内容および、指標の算出方法を記入								
	1	補助金交付に係る事務	補助金交付申請書受付から交付伺、補助金支払いを行う。								
	2	補助金精算に係る事務	補助金実績報告受付から、補助金支払いに係る清算事務を行う。								
	3										

◎目標達成状況

	指標名	単位	23年度	24年度	25年度	特記事項
成果指標	福祉活動専門員数	目標値	1	1	1	
		実績値	1	1		
		達成率	%	100.0%	100.0%	
		目標値				
		実績値				
		達成率	%			
活動指標	補助金交付に係る事務	目標値	1	1	1	
		実績値	1	1		
		達成率	%	100.0%	100.0%	
	補助金精算に係る事務	目標値	1	1	1	
		実績値	1	1		
		達成率	%	100.0%	100.0%	

事務事業名	社会福祉協議会福祉活動専門員補助事業	担当課(局)	健康福祉課
-------	--------------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数	評価の理由
		自己評価	
妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか	2	高鍋町の総合計画にある地域福祉活動の推進に関わる活動に対する助成であり妥当と考える。
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	
	◎事業廃止による影響があるのか	2	
有効性	◎目標に対して成果は得られているか	2	高鍋町の総合計画にある地域福祉活動の推進に関わる活動に対する助成であり有効と考える。
	◎すでに目的は達成されていないか	1	
効率性	◎活動量の効果は実際に上がっているか	1	地域福祉全般に関する事業や活動を行い、地域福祉活動の推進に大きな効果を上げていると考える。
	◎費用対効果が十分に認められるか	1	
協働性	◎ボランティア・NPOなど町民との協働ができるか	2	ボランティア団体等と連携し協働が確立されていると考える。
自己評価点		15	

※町補助をしている場合のみ記入

公益性 (公平性)	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること	2	地域社会全体を対象とした活動を行っているので、公益性は十分高いと考える。
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	1	
	◎町民の理解が得られる事業であるか	1	
合計(最高4点)		4	

その他	
-----	--

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	今後の方向性				
		事業の方向性	廃止	縮小	維持	拡充
	地域福祉を支える社会福祉協議会の要となる専門員の 人件費の助成は妥当である。	維持		○		
		コスト				

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉活動の推進に期待 ・補助金としては継続が妥当とは思いますが、その額については算定根拠を定めるべきかと思う(交付税措置もあるので) 	外部評価委員会 評価判定欄
事業	維持	事業
コスト	維持	コスト

平成25年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	社会福祉協議会運営補助事業		基本目標	地域福祉活動の推進				
担当課(局)・係	健康福祉課	社会福祉係	記入者	橋本 学	評価者	河野 辰己	開始年度	年度
事業の目的	意図・目的 (どうする)	社会福祉協議会の円滑な運営と活動の促進を図り、地域福祉の向上を目指す						
	対象(誰を・何を)	社会福祉協議会に対する補助						
事業の内容	社会福祉協議会の運営・活動に対する助成を行う。							
事業の根拠法令・要綱等								

◎前年度決算額及び今年度予算額

24年度決算額	6,802	千円	25年度予算額	6,802	千円	25年度予算額中一般財源の割合	100	%					
支出の内訳	補助金	6,802	千円	国庫支出金		事業従事者数	H24	0.01	人	H25	0.01	人	
			千円	県支出金		職員人件費	H24				59	千円	
			千円	地方債			H25					60	千円
			千円	一般財源	6,802		千円	当事業の金銭的コスト	H24			6,861	千円
			千円			千円	(職員人件費+予算(決算)額)	H25			6,862	千円	
補助事業	事業の区分	町単独補助			補助事業名	高鍋町社会福祉協議会補助金							
	補助対象	社会福祉協議会			補助金要綱	有							
	24年度	補助額	6,802	千円	補助の形態	運営費補助	H25年度補助額	6,802	千円	終期	平成25年度		
		交付団体の決算額	8,842	千円	H24年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等								
	決算額に占める割合	77	%	※普通交付税措置(単位費用)									
	繰越額	0	千円										

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名		この指標で評価される成果の具体的内容および、指標の算出方法を記入								
	1	職員数	人件費の一部を助成し地域福祉活動の推進にあたる職員を確保する。								
	2	助成団体数	助成による福祉団体の運営・活動の促進。								
	3	福祉団体の事務局運営数	民生委員児童委員協議会等の事務局業務を行い、団体運営の円滑化を図る。								
活動指標	活動指標名		この指標で評価される活動の具体的内容および、指標の算出方法を記入								
	1	補助金交付に係る事務	補助金交付申請書受付から交付伺、補助金支払いを行う。								
	2	補助金精算に係る事務	補助金実績報告受付から、補助金支払いに係る清算事務を行う。								
	3										

◎目標達成状況

成果指標	職員数	目標値	人	23年度	3	24年度	3	25年度	3	事務職員、事務局長、ボランティアコーディネーター
		実績値		3	3					
		達成率	%	100.0%	100.0%					
	助成団体数	目標値	団体	4	4	4	母子寡婦団体、身体障害者団体、視覚障害者団体、聴覚障害者団体			
		実績値		4	4					
		達成率	%	100.0%	100.0%					
	福祉団体の事務局運営数	目標値	団体	2	2	2	民生委員児童委員協議会、老人クラブ			
		実績値		2	2					
		達成率	%	100.0%	100.0%					
活動指標	補助金交付に係る事務	目標値	回	1	1	1				
		実績値		1	1					
		達成率	%	100.0%	100.0%					
	補助金精算に係る事務	目標値	回	1	1	1				
		実績値		1	1					
		達成率	%	100.0%	100.0%					
		目標値								
	実績値									
	達成率	%								

事務事業名	社会福祉協議会運営補助事業	担当課(局)	健康福祉課
-------	---------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数	評価の理由
		自己評価	
妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか	2	高鍋町の総合計画にある地域福祉活動の推進に関わる活動に対する助成であり妥当と考える。
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	
	◎事業廃止による影響があるのか	2	
有効性	◎目標に対して成果は得られているか	2	高鍋町の総合計画にある地域福祉活動の推進に関わる活動に対する助成であり有効と考える。
	◎すでに目的は達成されていないか	1	
効率性	◎活動量の効果は実際に上がっているか	1	地域福祉のニーズが増加・多様化する中で、地域福祉向上のためにコスト以上の活動を行っていると考え。
	◎費用対効果が十分に認められるか	2	
協働性	◎ボランティア・NPOなど町民との協働ができるか	2	社会福祉法人による活動。地域福祉団体等と協働して活動している。
自己評価点		16	

※町補助をしている場合のみ記入

公平性 (公益性)	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること	2	地域社会全体を対象とした活動を行っているので、公益性は十分高いと考える。
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	1	
	◎町民の理解が得られる事業であるか	1	
合計(最高4点)		4	

その他	
-----	--

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	当町における各種福祉団体の統括等を行うとともに、地域福祉の実践を担う存在として、当該団体における補助は適切と考える。	今後の方向性																											
			事業の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充					維持			○		縮小					廃止					<table border="1"> <tr> <td>廃止</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡充</td> </tr> <tr> <td colspan="4">コスト</td> </tr> </table>	廃止	縮小	維持	拡充	コスト
拡充																														
維持			○																											
縮小																														
廃止																														
廃止	縮小	維持	拡充																											
コスト																														

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉の実践からも更なる充実が必要 ・協議会内部の(デイ等)の事業収益の減少もあり、利益の無い事業が増えている現状もあるので、補助については維持が妥当ではないかと思う。 ・デイサービス、介護保険事業など社会福祉協議会が行う事業の拡大を図っていくこと。社会福祉協議会をふれあいセンター内に移すことはできないか。 	外部評価委員会 評価判定欄	
事業		維持	事業
コスト		維持	コスト

平成25年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	高鍋町総合福祉センター管理運営 事業		基本目標	地域福祉活動の推進				
担当課(局)・係	健康福祉課	社会福祉係	記入者	橋本 学	評価者	河野 辰己	開始年度	年度
事業の目的	意図・目的 (どうする)	福祉保健活動等を行うための環境を整備し、町民福祉の充実を図る。						
	対象(誰を・何を)	高齢者、障害者(児)、児童						
事業の内容	高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉など、町民福祉の充実を図るため設置する総合福祉センターの管理及び運営を指定管理者に委託。							
事業の根拠法令・要綱等								

◎前年度決算額及び今年度予算額

24年度決算額		3,482	千円	25年度予算額		3,765	千円	25年度予算額中一般財源の割合		100	%			
支出の内訳	需用費	1,167	千円	財源内訳	国庫支出金		千円	事業従事者数	H24	0.01	人	H25	0.01	人
	役務費	15	千円		県支出金		千円	職員人件費	H24	59			千円	
	委託料	2,300	千円		地方債		千円		H25	73			千円	
			千円		一般財源	3,765	千円	当事業の金銭的成本	H24	3,541			千円	
			千円				千円	(職員人件費+予算(決算)額)	H25	3,838			千円	
補助事業	事業の区分	該当しない			補助事業名									
	補助対象				補助金要綱									
	24年度	補助額		千円	補助の形態		H25年度補助額		千円	終期				
		交付団体の決算額		千円	H24年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等									
決算額に占める割合			%											
	繰越額		千円											

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名		この指標で評価される成果の具体的内容および、指標の算出方法を記入									
	1	利用件数	高齢者や障害者等の様々な活動の場として利用された。									
	2	利用者数	高齢者や障害者等の様々な活動の場として利用された。									
	3											
活動指標	活動指標名		この指標で評価される活動の具体的内容および、指標の算出方法を記入									
	1	開館日数	利用者のニーズに対応する。									
	2											
	3											

◎目標達成状況

	指標名		単位	23年度	24年度	25年度	特記事項
成果指標	利用件数	目標値	件				
		実績値		909	897		
		達成率		%			
	利用者数	目標値	人				
		実績値		18,008	15,928		
		達成率		%			
		目標値					
		実績値					
		達成率	%				
活動指標	開館日数	目標値	日	360	359	359	
		実績値		360	359		
		達成率		%	100.0%	100.0%	
		目標値					
		実績値					
		達成率	%				

事務事業名	高鍋町総合福祉センター管理運営事業	担当課(局)	健康福祉課
-------	-------------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数	評価の理由
		自己評価	
妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか	2	町民福祉の充実から町が積極的に行うべきものである。
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	
	◎事業廃止による影響があるのか	2	
有効性	◎目標に対して成果は得られているか	2	高齢者、障害者等の様々な活動の場となっている。
	◎すでに目的は達成されていないか	2	
効率性	◎活動量の効果は実際に上がっているか	1	高齢者、障害者等の様々な活動の場となっている。
	◎費用対効果が十分に認められるか	1	
協働性	◎ボランティア・NPOなど町民との協働ができるか	2	
自己評価点		16	

※町補助をしている場合のみ記入

公益性 (公平性)	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること		
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか		
	◎町民の理解が得られる事業であるか		
合計(最高4点)		0	

その他	
-----	--

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	町内の高齢者や障がい者等の各種福祉団体の活動を支える拠点施設として、その果たす役割は非常に大きいものがある。しかし、施設の老朽化等が進み修繕費等の経費負担等が今後の課題である。	今後の方向性																											
			事業の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充					維持			○		縮小					廃止					<table border="1"> <tr> <td>廃止</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡充</td> </tr> <tr> <td colspan="4">コスト</td> </tr> </table>	廃止	縮小	維持	拡充	コスト
拡充																														
維持			○																											
縮小																														
廃止																														
廃止	縮小	維持	拡充																											
コスト																														

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> 担当課の方針どおり現状維持が望ましい。 全体的な見直しも必要と考える。 デイサービスの方向性をどうしていくのか。 	外部評価委員会 評価判定欄	
事業		維持	事業
コスト		維持	コスト

平成25年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	歯科保健事業			基本目標	予防医療体制の整備			
担当課(局)・係	健康福祉課	健康推進係	記入者	戸田陽子	評価者	河野辰己	開始年度	年度
事業の目的	意図・目的 (どうする)	むし歯を予防し、摂食機能を維持することにより、疾病の予防と生活の質の向上をはかる						
	対象(誰を・何を)	幼児およびその保護者						
事業の内容	2歳児健康相談時に、歯科検診とフッ素塗布を実施。(年4回) 保育園での歯みがき指導とフッ素洗口～保育園6カ所、幼稚園1カ所 就学時健診時の保護者に、歯科衛生士による健康教育(各校区1回ずつ)							
事業の根拠法令・要綱等								

◎前年度決算額及び今年度予算額

24年度決算額	188	千円	25年度予算額	228	千円	25年度予算額中一般財源の割合		100	%				
支出の内訳	報償費	138	千円	国庫支出金		千円	事業従事者数	H24	0.07	人	H25	0.07	人
	需用費	50	千円	県支出金		千円	職員人件費	H24		500	千円		
			千円	地方債		千円		H25		509	千円		
			千円	一般財源	228	千円		当事業の金銭的成本	H24		688	千円	
			千円			千円	(職員人件費+予算(決算)額)	H25		737	千円		
補助事業	事業の区分	該当しない			補助事業名								
	補助対象				補助金要綱								
	24年度	補助額		千円	補助の形態		H25年度補助額		千円	終期			
		交付団体の決算額		千円	H24年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等								
決算額に占める割合			%										
	繰越額		千円										

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名		この指標で評価される成果の具体的内容および、指標の算出方法を記入									
	1	3歳児歯科検診でのむし歯がない児の割合	2歳児相談で、歯科検診とフッ素塗布をすることで、3歳児歯科検診でのむし歯有病率を増やさない。									
	2	フッ素洗口実施者の6歳臼歯がむし歯ではない割合	保育園等でのフッ素洗口の実施により、むし歯を予防する。									
	3											
活動指標	活動指標名		この指標で評価される活動の具体的内容および、指標の算出方法を記入									
	1	歯科検診とフッ素塗布	2歳児健康相談時に歯科検診とフッ素塗布を実施(年4回)									
	2	歯みがき指導とフッ素洗口	保育園での歯みがき指導(6カ所)、フッ素塗布(保育園6カ所、幼稚園1カ所)									
	3	歯科健康教育	就学時健診時の保護者会で歯科衛生士による健康教育を実施(校区毎に1回ずつ)									

◎目標達成状況

	指標名	単位	23年度	24年度	25年度	特記事項
成果指標	3歳児歯科検診でのむし歯がない児の割合	目標値	70	78	75	
		実績値	76	73		
		達成率	108.6%	93.6%		
	フッ素洗口実施者の6歳臼歯がむし歯ではない割合	目標値	93	97	93	
		実績値	96	91		
		達成率	103.2%	93.8%		
活動指標	歯科検診とフッ素塗布	目標値	4	4	4	
		実績値	4	4		
		達成率	100.0%	100.0%		
	歯みがき指導とフッ素洗口	目標値	7	7	7	
		実績値	7	7		
		達成率	100.0%	100.0%		
	歯科健康教育	目標値	2	2	2	
		実績値	2	2		
		達成率	100.0%	100.0%		

事務事業名	歯科保健事業	担当課(局)	健康福祉課
-------	--------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数	評価の理由
		自己評価	
妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか	2	歯科保健は町民の健康を守る上で重要な課題であり、基本的な歯科保健に関する意識や知識の啓発を図ることが必要である。 フッ素塗布やフッ素洗口を実施することにより、幼児期のむし歯予防につなげることができる。
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	
	◎事業廃止による影響があるのか	2	
有効性	◎目標に対して成果は得られているか	2	日本歯科医学会、日本歯科医師会、日本口腔衛生学会により、フッ化物利用の有用性が認められており、県および県歯科医師会が、フッ化物利用を推進している。
	◎すでに目的は達成されていないか	1	
効率性	◎活動量の効果は実際に上がっているか	1	フッ素塗布は2歳児相談と同時実施、フッ素洗口は、保育園・幼稚園の集団生活の中で実施することにより、効率的に実施することができる。健康教育は、就学時健診時の保護者に健診終了までの待ち時間を利用して実施している。
	◎費用対効果が十分に認められるか	1	
協働性	◎ボランティア・NPOなど町民との協働ができるか	0	保育園・幼稚園・学校・歯科医療機関等との連携は必要である。
自己評価点		13	

※町補助をしている場合のみ記入

公益性 (公平性)	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること		
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか		
	◎町民の理解が得られる事業であるか		
合計(最高4点)		0	

その他	
-----	--

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	フッ素塗布等を実施するとともに「歯」の健康について啓発を行うことにより、虫歯予防などの健康づくりに寄与している。	今後の方向性			
			事業の方向性	拡充	現状維持	縮小
			廃止	縮小	現状維持	拡充
			コスト			

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> 食育を進めてもいるので、この事業についても継続は妥当だと思われる。 事業の内容と成果を、しっかり出していくことが必要。 	外部評価委員会 評価判定欄	
事業		維持	事業
コスト		維持	コスト

平成25年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	放課後児童クラブ事業			基本目標	町民等との協働による子育て支援の充実			
担当課(局)・係	健康福祉課	子ども支援係	記入者	上杉真理	評価者		開始年度	年度
事業の目的	意図・目的 (どうする)	両親等の保護者が就労していることで、放課後、家庭での見守りができない状況にある家庭の代わりを行う						
	対象(誰を・何を)	町内に居住する、小学校3年生(原則)までの児童						
事業の内容	学校や幼稚園又は保育園で、学校の終業時間後又は土曜日夏休み等の学校の授業の無い日期間に、午後6時30分頃まで親の代わりに児童を見守る。							
事業の根拠法令・要綱等		児童福祉法第34条の8						

◎前年度決算額及び今年度予算額

24年度決算額	19,715	千円	25年度予算額	19,715	千円	25年度予算額中一般財源の割合				53.4	%			
支出の内訳	需用費	90	千円	財源内訳	国庫支出金		千円	事業従事者数	H24	0.15	人	H25	0.15	人
	委託料	19,625	千円		県支出金	9,183	千円	職員人件費		H24	1,072			千円
			千円		地方債		千円			H25	1,091			千円
			千円		一般財源	10,532	千円	当事業の金銭的成本		H24	20,787			千円
			千円				千円	(職員人件費+予算(決算)額)		H25	20,806			千円
補助事業	事業の区分	該当しない			補助事業名									
	補助対象				補助金要綱									
	24年度	補助額		千円	補助の形態		H25年度補助額		千円	終期				
		交付団体の決算額		千円	H24年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等									
決算額に占める割合			%											
	繰越額		千円											

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名		この指標で評価される成果の具体的内容および、指標の算出方法を記入									
	1	町内の実施施設数	要望のある児童を受け入れる施設									
	2	登録児童数(延べ)	就労により放課後において、施設において見守りを必要と判断した児童									
	3											
活動指標	活動指標名		この指標で評価される活動の具体的内容および、指標の算出方法を記入									
	1	職員の配置状況	利用者の安全性を考慮し、適切な人員を配置									
	2											
	3											

◎目標達成状況

	指標名	単位	23年度	24年度	25年度	特記事項	
成果指標	町内の実施施設数	目標値	5	5	5		
		実績値	5	5			
		達成率	%	100.0%	100.0%		
	登録児童数(延べ)	目標値	人	210	210		210
		実績値		214	204		
		達成率	%	101.9%	97.1%		
活動指標	職員の配置状況	目標値	1	1	1		
		実績値		1	1		
		達成率	%	100.0%	100.0%		
		目標値					
		実績値					
		達成率	%				

事務事業名	放課後児童クラブ事業	担当課(局)	健康福祉課
-------	------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数		評価の理由
		自己評価		
妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか	2		核家族化が進み、共働きの家庭では放課後に家庭において児童を見守ることができないため、仕事の終業時間まで放課後児童クラブで親に代わり児童の見守りを行う必要がある
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2		
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2		
	◎事業廃止による影響があるのか	2		
有効性	◎目標に対して成果は得られているか	2		多くの入会希望があり、多くの児童クラブで定員限度の登録となっている
	◎すでに目的は達成されていないか	1		
効率性	◎活動量の効果は実際に上がっているか	2		委託において事業を実施。 小学校施設利用 2クラブ 私立保育園・幼稚園施設利用 3クラブ 国県補助を活用して事業を実施し、補助基準額を基に委託料を算定。
	◎費用対効果が十分に認められるか	2		
協働性	◎ボランティア・NPOなど町民との協働ができるか	2		委託により、町内の私立保育園等を活用
自己評価点		17		

※町補助をしている場合のみ記入

公益 平 性 (公益性)	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること			
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか			
	◎町民の理解が得られる事業であるか			
合計(最高4点)		0		

その他	
-----	--

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合 評 価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	現下の厳しい経済状況等のため、共働き家庭が増え、本事業は、必要不可欠な事業といえる。本年度の申込の時点では定員を大幅に超える申込みがあり、申込者の調整に非常に苦慮した。受入施設の増設等も検討すべきである。	今後の方向性			
			事業の方向性	拡充	現状維持	縮小
			○			
			廃止	縮小	現状維持	拡充
			コスト			

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> 定員を大幅に超えている現状や今後の子育て支援制度の動向も見据えて拡充 利用希望者多数、子育て支援の一環として拡充したいとの方向性は理解できるが、国の今後の施策等を勘案し、当面の間は現状維持 待機児童等ないような支援を。 重要な事業ではあるが、いつまでも県補助が続くとは思えないので、今後継続可能な事業とするためにも制限は設けていく必要がある 事業の内容と成果を、しっかり出していくことが必要。 制度改正が見込まれているので、施設の確保等早めに対応すること。 ハード整備がなければ、現状維持での対応を。 	外部評価委員会 評価判定欄
事業	拡充	事業
コスト	拡充	コスト

平成25年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	児童館助成事業			基本目標	町民等との協働による子育て支援の充実			
担当課(局)・係	健康福祉課	子ども支援係	記入者	上杉真理	評価者		開始年度	年度
事業の目的	意図・目的 (どうする)	地域において児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする						
	対象(誰を・何を)	町内の乳幼児から高校生とその保護者						
事業の内容	児童の健全な遊びの場の確保、健康増進、情操を高めることを目的とした事業							
事業の根拠法令・要綱等								

◎前年度決算額及び今年度予算額

24年度決算額	10,058千円	25年度予算額	10,058千円	25年度予算額中一般財源の割合		100	%	
支出の内訳	金補助及び交付金	10,058千円	国庫支出金		事業従事者数	H24 0.06	人	
			県支出金		職員人件費	H24	429	
			地方債			H25	436	
			一般財源	10,058千円	当事業の金銭的成本	H24	10,487	
					(職員人件費+予算(決算)額)	H25	10,494	
補助事業	事業の区分	町単独補助		補助事業名	児童館助成事業補助金			
	補助対象	社会福祉法人あけぼの会 なでしこ児童館		補助金要綱				
	24年度	補助額	10,058千円	補助の形態	国庫補助	H25年度補助額	9,325千円	終期 平成26年度
		交付団体の決算額	11,500千円	H24年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
	決算額に占める割合	87%	◎利用者がおり、子育て支援の立場からも、継続すべき事業である。(H23) H24 2号補正より県補助が0、一般財源733千円増額。					
	繰越額	0千円						

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名		この指標で評価される成果の具体的内容および、指標の算出方法を記入
	1	実施施設数	施設利用の要望のある児童を受け入れる施設の設置
	2		
	3		
活動指標	活動指標名		この指標で評価される活動の具体的内容および、指標の算出方法を記入
	1	職員の配置状況 (一箇所あたり)	利用者の安全性を考慮し、適切な人員を配置
	2		
	3		

◎目標達成状況

	指標名	単位	23年度	24年度	25年度	特記事項
			目標値	実績値	達成率	
成果指標	実施施設数	箇所	1	1	1	
		達成率	100.0%	100.0%		
		目標値				
		達成率				
		目標値				
		達成率				
活動指標	職員の配置状況 (一箇所あたり)	人	1	1	1	
		達成率	100.0%	100.0%		
		目標値				
		達成率				
		目標値				
		達成率				

平成25年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	ファミリーサポートセンター事業			基本目標	町民等との協働による子育て支援の充実			
担当課(局)・係	健康福祉課	子ども支援係	記入者	上杉真理	評価者		開始年度	年度
事業の目的	意図・目的 (どうする)	保育施設の開始前や終了後又は学校の放課後などに、登録した会員が子どもを預かることで家庭の負担の軽減を図る。						
	対象(誰を・何を)	町内に居住する子育て家庭						
事業の内容	乳幼児や小学生等の児童を有する、子育て中の労働者や主婦等を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と、当該援助を行うことを希望するものとの相互援助活動に関する連絡調整を行う							
事業の根拠法令・要綱等								

◎前年度決算額及び今年度予算額

24年度決算額		1,602	千円	25年度予算額		1,602	千円	25年度予算額中一般財源の割合				50	%	
支出の内訳	委託料	1,602	千円	財源内訳	国庫支出金		千円	事業従事者数	H24	0.06	人	H25	0.06	人
			千円		県支出金	801	千円	職員人件費		H24		429	千円	
			千円		地方債		千円			H25		436	千円	
			千円		一般財源	801	千円	当事業の金銭的成本		H24		2,031	千円	
			千円				千円	(職員人件費+予算(決算)額)		H25		2,038	千円	
補助事業	事業の区分	該当しない			補助事業名									
	補助対象				補助金要綱									
	24年度	補助額		千円	補助の形態		H25年度補助額		千円	終期				
		交付団体の決算額		千円	H24年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等									
決算額に占める割合			%											
	繰越額		千円											

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名		この指標で評価される成果の具体的内容および、指標の算出方法を記入									
	1	おねがい会員登録数	サービスを受けたい会員数									
	2	おたすけ会員登録数	サービスを提供したい会員数									
	3											
活動指標	活動指標名		この指標で評価される活動の具体的内容および、指標の算出方法を記入									
	1	利用件数	サービスを利用した件数									
	2											
	3											

◎目標達成状況

	指標名		単位	23年度	24年度	25年度	特記事項
成果指標	おねがい会員登録数	目標値	人	120	130	140	
		実績値		103	120		
		達成率	%	85.8%	92.3%		
	おたすけ会員登録数	目標値	人	40	45	55	
		実績値		52	52		
		達成率	%	130.0%	115.6%		
活動指標	利用件数	目標値	件	80	100	150	
		実績値		130	115		
		達成率	%	162.5%	115.0%		
		目標値					
		実績値					
		達成率	%				

事務事業名	ファミリーサポートセンター事業	担当課(局)	健康福祉課
-------	-----------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数	評価の理由
		自己評価	
妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか	2	緊急時にどうしても子供を見ることができない方や
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	
	◎事業廃止による影響があるのか	2	
有効性	◎目標に対して成果は得られているか	2	休日の対応については、施設等では子どもを預かることができないのでこの事業での預かりが有効である
	◎すでに目的は達成されていないか	1	
効率性	◎活動量の効果は実際に上がっているか	1	おたすけ会員の登録数は横這いであるが、おねがい会員の登録が年々増加していることから、効果が上がっていると判断する。
	◎費用対効果が十分に認められるか	1	
協働性	◎ボランティア・NPOなど町民との協働ができるか	2	センターに登録された個人を活用した事業であり、既に協働が確立されている
自己評価点		15	

※町補助をしている場合のみ記入

公益性 (公平性)	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること		
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか		
	◎町民の理解が得られる事業であるか		
合計(最高4点)		0	

その他	
-----	--

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	乳幼児や小学校低学年生を有する保護者が、どうしても子供を見ることができない状況に置かれた場合、保護者の要望に応える子育て支援の選択肢の一つとして、継続して実施する事業である。さらに本事業の周知等図りたい。	今後の方向性				
			事業の方向性	拡充			
			現状維持				
			縮小				
			廃止				
				廃止	縮小	現状維持	拡充
				コスト			

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> おねがい会員が増加傾向にあることから拡充が必要と考えるが、ニーズ把握と効率的な事業運営によるコスト維持に期待したい 利用件数も減少傾向にあるので、利用者数の増加が課題か？ 現状では、現状維持が妥当と判断 有難い制度である 必要な事業と考えるが、事業の周知等はコスト維持のまま努めて欲しい。 需要が極端に増えない限りは、現状維持が妥当。 	外部評価委員会 評価判定欄
事業	維持	事業
コスト	維持	コスト

平成25年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	乳幼児すこやか健康管理事業			基本目標	保育サービスの充実			
担当課(局)・係	健康福祉課	子ども支援係	記入者	上杉真理	評価者		開始年度	年度
事業の目的	意図・目的(どうする)	認可外保育所に入所する児童の健康管理の向上						
	対象(誰を・何を)	認可外保育所に入所する児童						
事業の内容	町内に所在する認可外保育所に入所する児童が、健康診断を受診する費用の助成							
事業の根拠法令・要綱等								

◎前年度決算額及び今年度予算額

24年度決算額	20,500千円	25年度予算額	20,500千円	25年度予算額中一般財源の割合		51.2	%	
支出の内訳	金補助及び交付金	20,500千円	国庫支出金		事業従事者数	H24 0.01人	H25 0.01人	
			県支出金	10,000千円	職員人件費	H24	71千円	
			地方債			H25	73千円	
			一般財源	10,500千円	当事業の金銭的コスト (職員人件費+予算(決算)額)	H24	20,571千円	
						H25	20,573千円	
補助事業	事業の区分	国県補助		補助事業名	児童の健康診断費補助金			
	補助対象	特定非営利活動法人 良子の園保育園		補助金要綱				
	24年度	補助額	21千円	補助の形態	国県補助	H25年度補助額	30千円	終期 平成25年度
		交付団体の決算額	21千円	H24年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
	決算額に占める割合	100%	※新規事業(乳幼児すこやか健康管理事業)					
	繰越額	0千円						

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名		この指標で評価される成果の具体的内容および、指標の算出方法を記入				
	1	健康診断の実施	入所児童の健康管理の向上				
	2						
	3						
活動指標	活動指標名		この指標で評価される活動の具体的内容および、指標の算出方法を記入				
	1	受診児童の数(延べ)	入所児童の検診受診数				
	2						
	3						

◎目標達成状況

	指標名	単位	23年度	24年度	25年度	特記事項
成果指標	健康診断の実施	目標値	2	2	2	
		実績値	2	2		
		達成率	%	100.0%	100.0%	
		目標値				
		実績値				
		達成率	%			
活動指標	受診児童の数(延べ)	目標値	28	34	34	
		実績値	28	28		
		達成率	%	100.0%	82.4%	
		目標値				
		実績値				
		達成率	%			

事務事業名	乳幼児すこやか健康管理事業	担当課(局)	健康福祉課
-------	---------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数	評価の理由
		自己評価	
妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか	2	町内の認可外保育施設に入所する児童の健康診断実施に対して補助することにより、乳幼児の健康管理の一層の向上を図ることができる
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	
	◎事業廃止による影響があるのか	2	
有効性	◎目標に対して成果は得られているか	2	入所児童全員が年2回の健康診断を受診しており、乳幼児の健康管理の向上に寄与している
	◎すでに目的は達成されていないか	1	
効率性	◎活動量の効果は実際に上がっているか	2	健康診断を実施することにより、乳幼児の疾病の早期発見・早期治療につながることから、健康管理の向上のみならず、医療費の抑制につながるものと思われる
	◎費用対効果が十分に認められるか	2	
協働性	◎ボランティア・NPOなど町民との協働ができるか	0	なし
自己評価点		15	

※町補助をしている場合のみ記入

公平性 (公益性)	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること	1	児童福祉施設においては、「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等により、入所児童の健康診断の実施を行わなければならないとされている。 運営費等の助成の無い、認可外保育施設に対し、県の補助事業を活用して健康診断の費用助成を行うことで公平性が確保されるものと思われる
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	1	
	◎町民の理解が得られる事業であるか	1	
合計(最高4点)		3	

その他	
-----	--

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	町内にある認可外保育所(1園)に入所する児童が健康診断を受診する費用の助成事業であり、乳幼児の健康増進の観点から、引き続き、継続事業としたい。	今後の方向性			
			事業の方向性	拡充	現状維持	縮小
			廃止	縮小	現状維持	拡充
			コスト			

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> 町内の子育て支援に差を付ける訳にはいかない。 補助金が終期を迎えるが、次年度以降も必要と考える。 県補助を受けれる内は、やむを得ないと考える 事業の内容と成果を、しっかり出していくことが必要。 継続せざるを得ないと判断する。 県補助が継続のうちは当然維持だと考えるが、県補助が打ち切りとなっても維持はしていくべき。 	外部評価委員会 評価判定欄
事業	維持	事業
コスト	維持	コスト

平成25年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	ひとり親家庭医療助成事業		基本目標	相談支援体制の強化					
担当課(局)・係	健康福祉課	子ども支援係	記入者	上杉真理	評価者		開始年度	S54	年度
事業の目的	意図・目的 (どうする)	ひとり親家庭の医療費の一部を助成することにより、ひとり親家庭の健康増進と福祉の向上を図る							
	対象(誰を・何を)	20歳未満の者を扶養している配偶者のいない女子及び男子とその者に扶養されている18歳に達した日が属する年度の年度末までの児童及び父母の無い児童(所得制限有)							
事業の内容	助成対象者1名につき、診療月保険診療分負担額の合計から1000円を差し引いた額を助成。 県内の医療機関に入院した場合は、受給資格者証等の提示により1000円の自己負担の支払いのみとなる(保険適用医療)。 県外医療機関入院及び通院に係る自己負担については、診療点数、保険適用自己負担額の証明にて、申請の後償還払い。								
事業の根拠法令・要綱等									

◎前年度決算額及び今年度予算額

24年度決算額		9,060	千円	25年度予算額		9,060	千円	25年度予算額中一般財源の割合		54	%	
支出の内訳	手数料	4	千円	財源内訳	国庫支出金		千円	事業従事者数	H24	0.33	人	
	扶助費	9,056	千円		県支出金	4,171	千円	職員人件費	H24	2,358		千円
			千円		地方債		千円		H25	2,400		千円
			千円		一般財源	4,889	千円		当事業の金銭的成本	H24	11,418	
			千円				千円	(職員人件費+予算(決算)額)	H25	11,460		千円
補助事業	事業の区分	該当しない			補助事業名							
	補助対象				補助金要綱							
	24年度	補助額		千円	補助の形態		H25年度補助額		千円	終期		
		交付団体の決算額		千円	H24年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等							
		決算額に占める割合		%								
繰越額			千円									

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名		この指標で評価される成果の具体的内容および、指標の算出方法を記入								
	1	町負担金額	保険適用医療自己負担額から高額療養費、付加給付費、自己負担額(1000円)を差し引いたもの								
	2	県補助金額	補助基準額の1/2。県の補助基準により、町負担額の1/2とはならない								
	3	受給者数	町内に住所を有している、ひとり親家庭に属する18歳の誕生日以後の3月31日までの児童とその親(親の助成は、子が20歳の誕生日を迎えるまで)								
活動指標	活動指標名		この指標で評価される活動の具体的内容および、指標の算出方法を記入								
	1	助成件数(現物給付)	県内の病院に入院した当該助成対象件数								
	2	助成件数(申請払い)	県内の病院への入院以外の診療に係る、医療費の助成件数								
	3	高額医療費戻入件数	現物給付等に伴い発生する、高額医療費分の戻入件数								

◎目標達成状況

	指標名		単位	23年度	24年度	25年度	特記事項
成果指標	町負担金額	目標値	円		7,149,000	8,232,000	
		実績値			9,055,903		
		達成率	%		126.7%		
	県補助金額	目標値	円		3,574,500	4,116,000	
		実績値			4,170,000		
		達成率	%		116.7%		
受給者数	目標値	人			830		
	実績値			832			
	達成率	%					
活動指標	助成件数(現物給付)	目標値	件			50	
		実績値			39		
		達成率	%				
	助成件数(申請払い)	目標値	件			830	
		実績値			616		
		達成率	%				
	高額医療費戻入件数	目標値	件			5	
		実績値			5		
		達成率	%				

事務事業名	ひとり親家庭医療助成事業	担当課(局)	健康福祉課
-------	--------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数	評価の理由
		自己評価	
妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか	2	1人月額1000円の自己負担をしてもらうことにより、安易な受診や重複受診の抑制につながっている。 県内他市町村もほぼ同様の内容で当事業を実施しており、今後も事業を継続していくのが適当と思われる。
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	
	◎事業廃止による影響があるのか	2	
有効性	◎目標に対して成果は得られているか	2	
	◎すでに目的は達成されていないか	2	
効率性	◎活動量の効果は実際に上がっているか	1	1人月額1000円の自己負担をしてもらうことにより、安易な受診や重複受診の抑制につながっている。 県内他市町村もほぼ同様の内容で当事業を実施しており、今後も事業を継続していくのが適当と思われる。
	◎費用対効果が十分に認められるか	1	
協働性	◎ボランティア・NPOなど町民との協働ができるか	0	
自己評価点		14	

※町補助をしている場合のみ記入

公平性 (公益性)	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること		
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか		
	◎町民の理解が得られる事業であるか		
	合計(最高4点)	0	

その他	
-----	--

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	年々対象者が増加しており、経済手戻基盤の弱いひとり親世帯等の負担軽減のため継続事業とする。	今後の方向性				
			事業の方向性	拡充			
			現状維持		○		
			縮小				
			廃止				
				廃止	縮小	現状維持	拡充
				コスト			

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> 社会情勢を考えると必要な事業であるが、事業費が今後も増加を続けるようならば、負担額の見直しを早期の検討していく必要がある。 事業の内容と成果を、しっかり出していくことが必要。 対象者が増えれば結果コストが拡充することになるが、制度上は現状維持。 		外部評価委員会 評価判定欄	
事業	維持		事業	維持
コスト	維持		コスト	維持

平成25年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	持田地区高齢者福祉センター管理運営事業		基本目標	高齢者の生きがいきづくり支援					
担当課(局)・係	健康福祉課	介護・高齢者福祉係	記入者	濱本 生代	評価者	河野 辰己	開始年度	H20	年度
事業の目的	意図・目的 (どうする)	高齢者がさまざまな活動行う環境の整備							
	対象(誰を・何を)	高齢者の生きがいきづくりの支援							
事業の内容	健康の増進や教養の向上、レクリエーション等を行うための高齢者福祉センターの管理及び運営を指定管理者に委託。								
事業の根拠法令・要綱等									

◎前年度決算額及び今年度予算額

24年度決算額		3,059	千円	25年度予算額		3,069	千円	25年度予算額中一般財源の割合		100	%			
支出の内訳	委託料	3,000	千円	財源内訳	国庫支出金		千円	事業従事者数	H24	0.01	人	H25	0.01	人
	使用料・賃借料	59	千円		県支出金		千円	職員人件費	H24	71			千円	
			千円		地方債		千円		H25	73			千円	
			千円		一般財源	3,069	千円	当事業の金銭的コスト	H24	3,130			千円	
			千円				千円	(職員人件費+予算(決算)額)	H25	3,142			千円	
補助事業	事業の区分	該当しない				補助事業名								
	補助対象					補助金要綱								
	24年度	補助額		千円	補助の形態		H25年度補助額		千円	終期				
		交付団体の決算額		千円	H24年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等									
決算額に占める割合			%											
	繰越額		千円											

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名		この指標で評価される成果の具体的内容および、指標の算出方法を記入									
	1	利用件数	高齢者や地域住民のさまざまな活動の場として利用された。									
	2	利用者数	高齢者や地域住民のさまざまな活動の場として利用された。									
	3											
活動指標	活動指標名		この指標で評価される活動の具体的内容および、指標の算出方法を記入									
	1	開館日数	利用者のニーズに対応する。									
	2											
	3											

◎目標達成状況

	指標名		単位	23年度	24年度	25年度	特記事項
成果指標	利用件数	目標値	件				
		実績値		475	499		
		達成率		%			
	利用者数	目標値	人				
		実績値		5,085	5,308		
		達成率		%			
活動指標	開館日数	目標値	日	255	294	294	
		実績値		257	278		
		達成率		%	100.8%	94.6%	
		目標値					
		実績値					
		達成率		%			

事務事業名	持田地区高齢者福祉センター管理運営事業	担当課(局)	健康福祉課
-------	---------------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数	評価の理由
		自己評価	
妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか	2	高齢者の健康づくりや生きがいづくりは医療費抑制や介護予防にもつながることから町も積極的に行うべきものである。
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	
	◎事業廃止による影響があるのか	2	
有効性	◎目標に対して成果は得られているか	2	多様な利用が可能で、高齢者のさまざまな活動の場となっている
	◎すでに目的は達成されていないか	2	
効率性	◎活動量の効果は実際に上がっているか	1	高齢者の健康づくりや生きがいづくりの場となっている。
	◎費用対効果が十分に認められるか	1	
協働性	◎ボランティア・NPOなど町民との協働ができるか	0	管理業務の協働は不可能である。
自己評価点		14	

※町補助をしている場合のみ記入

公平性 (公益性)	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること		
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか		
	◎町民の理解が得られる事業であるか		
	合計(最高4点)	0	

その他	
-----	--

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	高齢者の生きがいづくり健康づくり地域住民をはじめとした様々な団体の活動の場となっている。運営についても、現行のまちづくり協議会による運営が適切だと考える。	今後の方向性																											
			事業の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充					維持		○			縮小					廃止					<table border="1"> <tr> <td>廃止</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡充</td> </tr> <tr> <td colspan="4">コスト</td> </tr> </table>	廃止	縮小	維持	拡充	コスト
拡充																														
維持		○																												
縮小																														
廃止																														
廃止	縮小	維持	拡充																											
コスト																														

事務事業評価委員会評価欄	・指定管理者として5年間(平成25年度～平成29年度)管理運営をさせることから、現状維持 ・財源確保のため自主事業の取り組みに期待 ・利用者も増えているので、現状のまま進める事が妥当と思われる。 ・事業の内容と成果を、しっかり出していくことが必要。	外部評価委員会 評価判定欄	
事業		維持	事業
コスト		維持	コスト